

金沢市地域防災計画第2次改定の骨子案

改定の趣旨

- 石川県地震被害想定の見直し結果に基づき、森本・富樫断層帯における地震を対象に、本市の被害予測を見直し、**本市の災害対応体制の強化を図るもの**とします。
- これまでの検証会議やアドバイザー会議、防災会議等で議論を重ね、その結果を反映することにより、**地域防災計画等をより一層実効性の高い内容に改定し、「災害に強いまちづくり」を推進**します。

改定方針

○ 石川県の地震被害想定の見直し結果を踏まえ、以下の5つの方針を柱に改定を行います。

- ① 避難所のあり方や備蓄計画などの見直し
- ② 新たに設定された被害想定項目への対応（災害関連死、孤立集落、帰宅困難者）
- ③ 「いのちを守る」減災・予防策の充実
- ④ 早期復旧・復興に向けた受援体制の強化
- ⑤ デジタル技術の活用及び適正な災害広報

改定の内容（案）

① 避難所のあり方や備蓄計画などの見直し

- ・スフィア基準にあわせ避難者1人あたり3.5㎡に改定
- ・不足する避難所の解消に向け、届出避難所制度を創設
- ・在宅避難を含む避難者情報の収集方法の検討
- ・車中避難とペット対応に特化した一時避難場所を指定
- ・国指針による必要量を基に、備蓄計画を改定
- ・福祉避難所協定施設での備蓄品目を充実
- ・浸水想定区域内にある備蓄倉庫を移設



届出避難所：民間の運送会社の事例

② 新たに設定された被害想定項目への対応（災害関連死、孤立集落、帰宅困難者）

- ・避難所体育館へ空調設備整備を推進
- ・地区にアドバイザーを派遣し、避難所運営を強化
- ・医療福祉団体との連携強化、防災懇話会の開催
- ・健康危機管理体制を強化し、対応を迅速化
- ・孤立集落対策マニュアルを作成
- ・帰宅困難者対応について近隣事業者との連絡会を開催



避難所体育館での空調設備推進

③ 「いのちを守る」減災・予防策の充実

- ・金沢市建築物耐震改修促進計画(第4次)を策定し、未耐震の建築物が多いエリアへ効果的に周知啓発を実施
- ・建設関係団体と連携し、道路啓開対応等を迅速化
- ・企業局総合防災計画を見直し
- ・子どもたちへの防災教育を推進
- ・家具固定の具体例を示した講座など、命を守る初動訓練を推進
- ・携帯トイレの備蓄など、災害時におけるトイレ環境の確保に向けた周知



こども未来会議

④ 早期復旧・復興に向けた受援体制の強化

- ・実効性の高い災害時受援マニュアルへ改定
- ・災害時協力協定の運用を見直し（活動開始条件等を明確化）
- ・平時より民間との連携担当課を明確にし、連携を強化
- ・災害フェーズにあわせ、部局横断型のPTを設置
- ・国の被災者援護協力団体の登録制度を活用し、不足する連携分野を補足



PT（プロジェクトチーム）イメージ

⑤ デジタル技術の活用及び適正な災害広報

- ・多角的な被災情報の収集と分析手法を検討し、時系列や項目の整理など、効果的な情報発信を行うための災害時広報マニュアルを整備
- ・新総合防災情報システム(SOBO-WEB)、新物資支援・供給システム(B-PLo)を活用し、災害発生時に早期の情報把握・推計に努める